

I はじめに

平成22年第1回定例会の開会に当たり、北海道教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

新しい世紀が始まり、早くも10年が経過しようとしている中、インターネットの飛躍的な普及などを背景として、グローバル化の流れが一層加速し、地球規模で人や資本、物資や情報がダイナミックに行き交う時代となっています。

加えて、地球温暖化やエネルギー・食糧問題など、課題解決に向け、国と国とが互いに共生していくことが求められる時を迎えております。

一昨年の世界同時不況は、こうした世界の状況の端的な現れであり、今もなお、我が国及び本道の経済・財政、雇用環境に大きな影響を及ぼしています。

道内の各地域においても、人口減少や少子・高齢化が進行し、地域医療や雇用の場の確保、暮らしの安心などへの不安が広がる中、そこに住む人々の地域への誇りや再生への情熱を足がかりに、持続可能で活力ある地域づくりを進める必要があります。

このような時にこそ、教育においては、新しい時代・新しい北海道を積極果敢に築き上げていく進取の気概を持った人材を育成することが求められており、このためには、子どもたち一人ひとりに、困難に立ち向かい解決する力、他者を思いやり自然を大切にする心、すなわち、未来を切り拓き、次代を生きる力を育んでいくことが何よりも重要であります。